

H.A.L.'s Circle Review 通算配信 5,000 号に寄せて

「H.A.L.'s Circle Review」通算 5000 号、誠におめでとうございます。

2000 年の創刊から 26 年にわたり、一つのメディアを継続し、5000 号という節目を迎えられることに、心より敬意を表します。

インターネットや SNS、動画による情報発信が当たり前となった現在、私たちを取り巻く情報環境は 26 年前とは大きく変わりました。しかし、ハイエンドオーディオという分野において、「実際に聴かなければ分からない」という本質は今も変わっていないように思います。

私たち輸入商社の役割は、海外の優れた製品を日本に紹介することだけではありません。その製品がどのような思想から生まれ、何を目指して設計され、そして実際の再生音としてどのような価値をもたらすのか。それを販売店の皆様とともに日本のオーディオファイルに伝え、実際に体験していただくところまでが、私たちの仕事だと考えています。

特にハイエンドオーディオでは、スペックや写真、価格だけで製品の価値を語ることはできません。

そして動画や SNS がどれほど進化しても、そのシステムが本来持っている音を、画面の向こう側へそのまま届けることもできません。だからこそ実際の音を聴き、その体験を言葉にして伝えることには、今なお大きな意味があるのだと思います。

H.A.L.'s Circle Review には、長年にわたりダイナミックオーディオ 5555 7F という実際の試聴環境があり、そこで数多くの製品を聴き込み、お客様と対話してきた経験があります。

その「実際に聴いた」という事実を背景として紡がれる文章だからこそ、読者はそこから音を想像し、「自分でも聴いてみたい」という気持ちを持つことができるのでしょう。

私たちゼファンも、海外メーカーと日本のオーディオファイルをつなぐ立場として、単に製品を販売するのではなく、その製品が持つ本当の価値を丁寧に伝えていきたいと考えています。

そして最後にその価値を証明するのは、やはり「音」そのものです。

これからも H.A.L.'s Circle Review を通じて、多くの製品との出会い、そして実際に音を聴くきっかけが生まれていくことを期待しております。

5000 号という大きな節目に、改めてお祝い申し上げるとともに、今後ますますのご発展を心より祈念いたします。

株式会社ゼファン 代表取締役社長
安藤宏平